

**「都市のDX」によって、安全で安心な都市づくりをさらに加速
「火災時初動訓練 VR シミュレーター」を独自開発
～最新 VR 技術で、臨場感のある火災時初動訓練を実現～**

森ビル株式会社(東京都港区、代表取締役社長:辻慎吾)は、このたび、「虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」を舞台に、最新の VR 技術を活用した「火災時初動訓練 VR シミュレーター」を独自開発しました。これにより、現実世界で体験することが難しい臨場感のある初動訓練を、いつでも、どこからでも、何度でも、仮想空間において実施することが可能となります。

森ビルは、「逃げ出す街から逃げ込める街へ」のコンセプトのもと、長年にわたって安全・安心な都市づくりを実現すべく、様々な取り組みを実施してきました。その一環として、火災発生時における初動訓練を定期的にも実施しておりますが、テナントが入居する稼働中のオフィスやレジデンスにおいては火災発生現場を忠実に再現することは不可能であり、大規模かつ本格的な初動訓練の実施には限界がありました。この課題を解決すべく、このたび、株式会社理経に VR 制作をご協力頂き、森ビル独自の「火災時初動訓練 VR シミュレーター」の開発に至りました。

本 VR シミュレーターを活用することで、仮想空間内で訓練者が実際に火災報知機を鳴らしたり、燃え上がる炎の前で消火訓練をすることが可能となります。さらに、扉に触れた際に火災による熱を疑似体験できる、感熱デバイスの導入も検討しています。また、本 VR シミュレーターには、各種判断・行動に対する採点機能も搭載しており、担当者の主観に頼らない、客観的な採点結果によって、より効率的なスキルの向上が期待できます。加えて、コロナ禍で人流抑制や様々な行動制限がある中においても、いつでも、どこからでも、何度でも、火災時における適切な初動訓練の実施が可能となります。

今月より、当社物件の管理・運営に関わる現場社員・協力会社スタッフを対象として、本 VR シミュレーターによる初動訓練を順次開始いたします。



最新の VR 技術を活用した火災時初動訓練



現実世界では難しいリアルな訓練が可能

当社は、最先端技術を活用して安全・安心な都市づくりを加速することで、引き続き、国際都市・東京の磁力向上に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

森ビル株式会社 山崎・滝川・福本

TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp

火災時初動訓練概要

【現場対応の初動訓練】

火災報知機の発報を確認してからの一連の対応手順を確認します。



①非常用エレベーターの強制呼び戻し



②非常用エレベーターの一次消防運転の操作



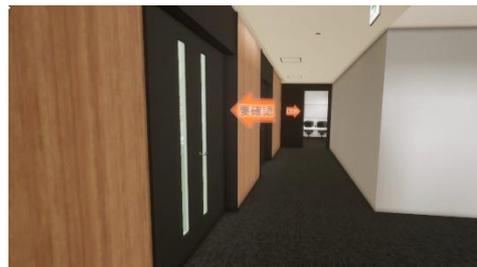
③出火した部屋の扉を開ける前の温度確認



④消火器による初期消火



⑤散水栓を用いた消火活動



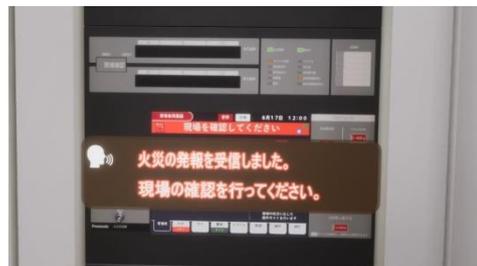
⑥出火階における適切な避難誘導

【防災センター内での初動訓練】

初期消火成功時、初期消火失敗時、火災報知器の誤作動時における対応手順を確認します。



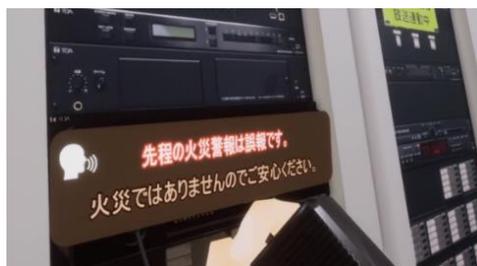
①火災報知器の警報の停止



②現場対応社員に対する確認指示



③消防署への119番通報



④館内放送によるアナウンス